

1 文化・スポーツ拠点の整備

これまでの区の主な取り組み＜文化＞

■「えどがわデジタル美術館」

区内に点在するアート作品や、自然とアートを楽しむ散策コースを掲載

■「文化コンシェルジュ」(区内16カ所)

区内文化施設職員(=コンシェルジュ)が、一人ひとりにあった文化活動をマッチング

■東京藝術大学との連携

「アート之力」で社会課題を解決するため、多世代交流ワークショップの開催やクラフトビールの醸造・販売を目指す「Edogawa Beer Project」での連携など、様々な取り組みを実施



デジタル美術館

いつでも気軽に文化芸術に
触れられる環境を整備



多世代交流ワークショップ開催

■ 区民大会や各種大会・イベントの開催

春季・秋季の年2回、40以上の競技で区民大会を開催するほか、カヌー・スラローム大会やボッチャ交流大会、パラスポーツフェスタなどを開催

■ 「スポーツコンシェルジュ」（区内7カ所）

健康運動指導士などの資格を持つスタッフが運動に関する相談に応じる

■ 東京2020パラリンピック22競技“できる”宣言（2020年12月～）

区内でパラリンピック全22競技の試合やトレーニングができるよう整備



スポーツコンシェルジュ



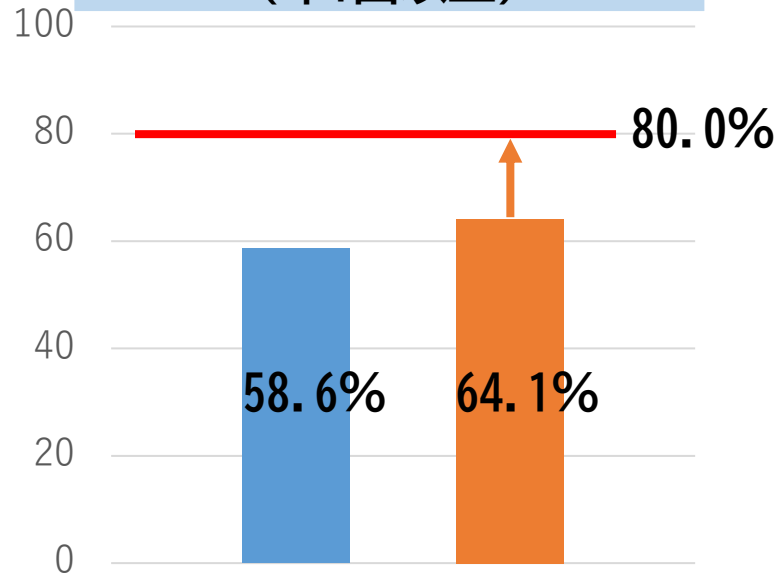
パラ陸上教室の様子

**年齢や障害の有無にかかわらず、
誰もがスポーツや運動ができる環境を整備**

区内の文化・スポーツ活動の状況

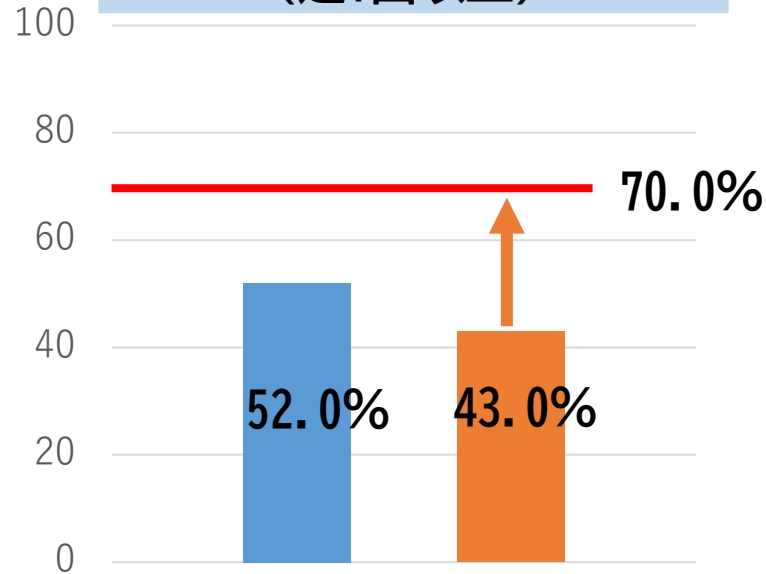
■国実績 ■区実績 —国目標

文化芸術活動や鑑賞の実施率
(年1回以上)



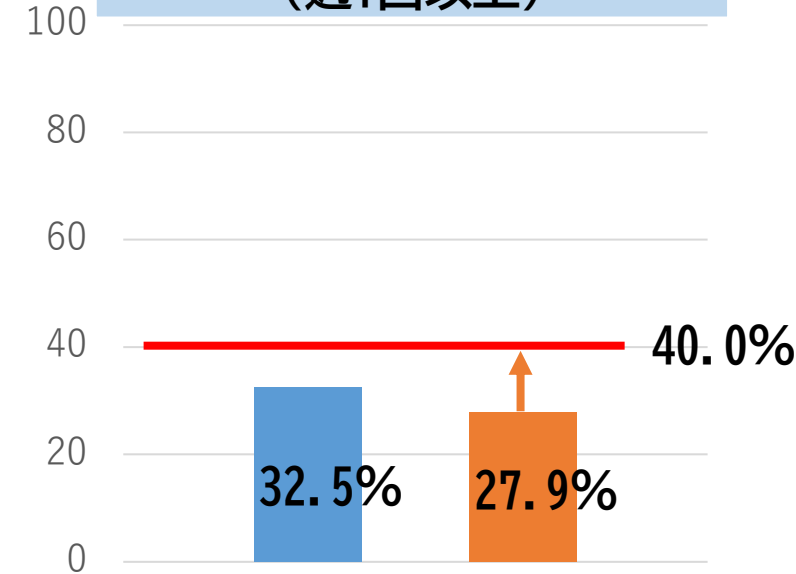
引用/国目標：文化庁2020年までの目標値（鑑賞活動）
 国実績：R6世論調査（鑑賞活動+鑑賞以外の文化芸術活動）
 区実績：R5区民世論調査

スポーツ実施率
(週1回以上)



引用/国目標：第3期スポーツ基本計画
 国実績：R5世論調査
 区実績：R6区民世論調査

障害者のスポーツ実施率
(週1回以上)



引用/国目標：第3期スポーツ基本計画
 国実績：R5世論調査
 区実績：R4区民生活ニーズアンケート

文化・スポーツ活動を行える場所を、
 身近な場所にさらに充実させることが必要

名 称

江戸川区文化スポーツプラザ

目 的

文化芸術及びスポーツの振興を図り、健康で
文化的な区民生活の充実及び向上に寄与する

施設概要

開 設 日	令和7年4月1日（火）
開館日時	平日、土日祝（年末年始を除く） 午前9時～午後9時30分
事 務 局	平日 午前8時30分～午後5時
延床面積	2093.05㎡（1階：892.77㎡、2階：809.95㎡、3階：351.85㎡）

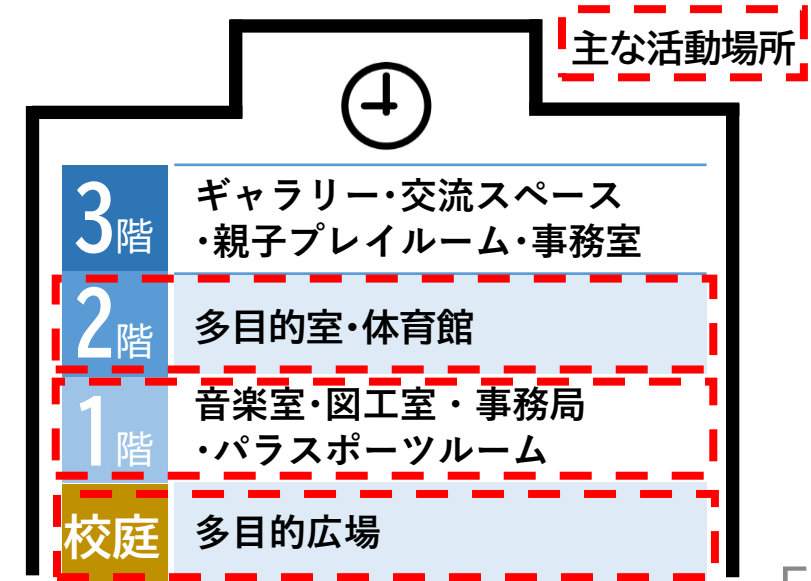


文化・スポーツ活動の拠点

- 文化会・スポーツ協会・東京藝大・区の4者が連携して事務局運営（予定）
- 地域クラブ活動（部活動の地域移行など）の実施（バスケットボールや吹奏楽など）
- 区民の文化・スポーツ活動の場（利用がない時間帯を一般公開・貸出）



部活動の地域移行のイメージ



アートや芸術活動の拠点（東京藝大との連携）

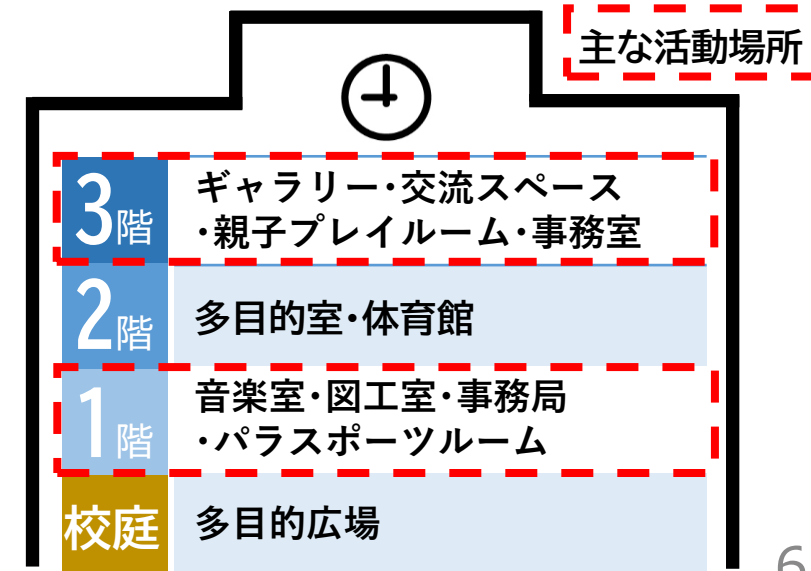
- 子育て世代をはじめとしたクリエイターが集う場(交流・創作スペース)としての活用
- 区民の文化活動及び鑑賞の機会（ギャラリー）の場として活用
- 東京藝大による特色あるワークショップの開催



ギャラリー



交流スペース



パラスポーツの拠点

■「東京2020パラリンピック22競技“できる”宣言」の更なる充実

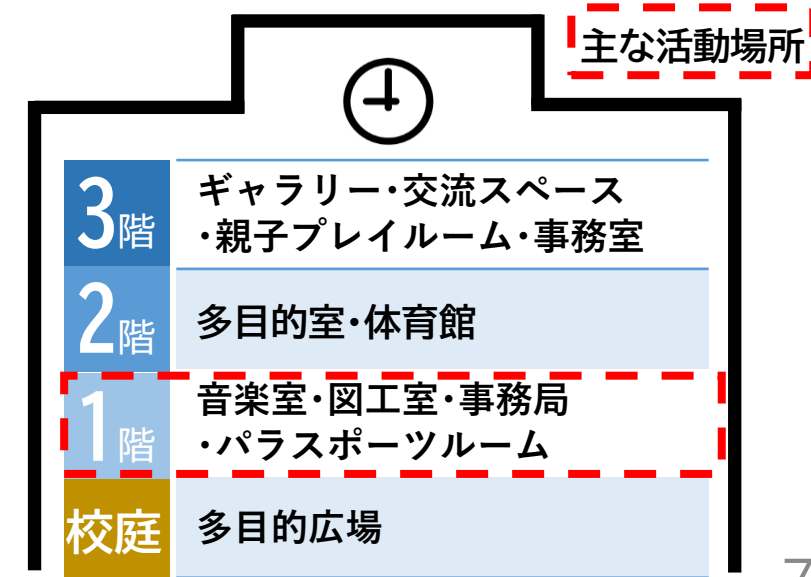
車いすフェンシング、ボッチャ、パワーリフティング等の器具を設置し、
いつでもパラスポーツができる環境を整える



車いすフェンシング



ボッチャ



ともに、生きる。
江戸川区

×

文化会
スポーツ協会

×



TOKYO
GEIDAI

身近な場所でいつでもだれもが
文化・スポーツを行える場所を整える。